

「CSVデータの計算機能の使い方が分かりません」

CSVデータのポイント(点のデータ)を統計エリアデータ(面のデータ)に集計を行うことができます。この例では、500M×500Mのメッシュ一つに、いくつかのポイントを含んでいるかを統計エリア単位に集計し、結果を統計レイヤの1指標とするよう、集計してみます。

まず、CSVデータをインポートしておきます。この機能を使う場合は、統計データも同時にインポートしておく必要があります。以下の例の場合は、サンプルデータとして搭載されている「横浜市会員データ(サンプル)」のCSVデータを使っています。統計データは横浜市と川崎市の統計データを表示しています。

「CSV⇒統計レイヤに集計」メニューをダブルクリックすると、集計用のツールバーが表示されます。

行	メッシュコード	都道府県名	市区町村名	行政コード	秘匿合算区	合算先メ	総人口	総人口男
2432	533934041	神奈川県	横浜市青葉	14117	<空白>	<空白>	685	316
2431	33934032	神奈川県	横浜市青葉	14117	<空白>	<空白>	1747	862
2430	3934031	神奈川県	横浜市青葉	14117	<空白>	<空白>	967	485
2429	934022	神奈川県	横浜市青葉	14117	<空白>	<空白>	1335	678

ダブルクリック

500m統計データメッシュとCSVのポイントが地図上にも表示されています。

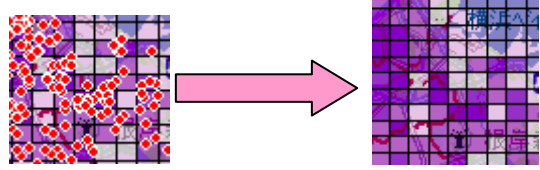
クリック

キーボードから好みの名称を入力することができます

新列名 会員数

集計実行

先ほどまで統計データには無かった指標が表示されます



集計終了後は、左の様に地図上にCSVのポイント表示と統計データ表示が重なった状態となりますので、CSVのポイントデータの表示を解除すると、見やすくなります。

- 六四七七七七七七
- 1世帯当たり延べ面積
- 就業者総数
- 就業者男
- 就業者女
- 第1次産業就業者総数
- 第2次産業就業者総数
- 第3次産業就業者総数
- 昼間人口総
- 昼間人口男
- 昼間人口女
- 会員数

- CSVレイヤ
- CSVインポート
- インポート済み一覧
- CSVインポート結果
- 横浜市会員データ(サンプル)
- レイヤ表示
- 文字レイヤ表示
- 強調レイヤ表示

メニューを右クリックしてインポートデータを削除すると上の様にポイントを地図から消すことができます。